

審判部より

第43回 関東中学校ソフトテニス大会 **監督会議資料** 平成25年8月6日

競技は、(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項・大会出場規定に従って行う。

1 オーダー票の配布について

- 初戦：6日の到着受付時(監督者会議資料)に封筒に入れて1枚を配布します。
2回戦以降：退場後に勝者監督へ担当審判員より配布します。

2 団体戦オーダー票の提出と集合について

- 初戦：8:00までにオーダー提出所に提出してください。8:15に第一試合集合場所に集まってください。
2回戦以降：対戦相手決定後速やかにオーダー票を提出して、集合場所に集まってください。すでに対戦相手が決定している場合は、退場後速やかにオーダー票を提出し、集合場所に集まってください。

3 勝者サインについて

試合後の挨拶時に、個人戦はどちらかの選手、団体戦は監督(コーチ)が名前(名字)を記入してください。

4 リボンについて

選手確認のためのリボンをハーフパンツ・スカート・ショートパンツにつけてください。リボンは、集合場所で採点票の上(先)に記入してある選手に渡します。退場後に返却してください。

5 開始挨拶後について。

開始挨拶後のアドバイスは禁止です。速やかに試合の準備をしてください。

個人戦：挨拶後にトスをし、すぐに乱打を始めてください。ベンチには戻らないでください。「レディ」後はすぐにマッチを開始してください。
(レディ後のアドバイスは警告となります。)

団体戦：挨拶後に第1マッチの選手の準備を促しますが、円陣を行う場合は、この場面でお願ひします。ただし、その後は速やかに第1マッチの選手が整列するようお願いひします。その後、マッチごとの挨拶・トス・乱打・プレーボールとなります。お互いに円陣を見合うことはしないでください。

6 団体戦の2面展開での監督・コーチの位置について

監督・コーチの位置は2面の中央とします。最終的に1面に戻った場合は、そのコート中央とします。監督席の移動については、本来は本部で設置すべきですが時間の関係で該当校に移動をお願いひします。(椅子をもって、移動してください。)また、マッチ終了の挨拶は、最終マッチのコートで行います。
Aコート以外の応援は片側をコート中央から両チームに分かれて応援してください。2面展開の場合は、応援に近い側のベンチのチームが内側になるようにしてください。

7 「うちわ」や「せんす」の持ち込みについて

チェンジサイド時に使用するために持ち込むのはかまいません。ただし、それ以外での使用及び手にした場合には注意を与えます。タオルを振っている場合も同様とします。

8 具合の悪い選手がいて入場が遅れた場合の対応について

個人戦：入場が5分遅れた場合、警告1回、10分で2回目、15分で失格とします。
(失格になる前に本部に棄権を申告し、認められた場合は棄権になります。)

団体戦(オーダー提出後)：具合の悪い選手が欠けた状態で入場をすることを認めます。
その選手のマッチ開始時になったとき、5分遅れた場合は警告1回、10分で2回目、15分で失格とします。失格が出たので団体戦としても失格とします。
(プレーボール後の棄権は失格となりません。)

9 警告を出さないためのお願い

以下の項目は警告対象となりますので、注意をお願いします。

- (1) マッチ中の遅延行為(レッツプレーに従わない場合)は警告対象となります。
例：サービス時に風が止むのを待っていたり、間を取っている場合など指示に従えない場合は警告の対象となります。(連続プレーを妨げるもの)
- (2) チェンジサイズ時(ファイナルゲーム前を含む)の制限時間(1分)50秒で「レッツプレー」のコールをし、動きがなければすぐに警告対象となります。
例：レッツプレーのコールの後に水分補給を始める。
- (3) チェンジサイズ時以外の声かけは警告の対象となります。(ポイントの切れ目等)
例：監督・コーチの声かけに後ろを向いて返事をする。

【監督・ベンチから】

- ・応援の範囲内はかまいません。(プレーに対する賞賛)
- ・次のプレーへの指示や指導が伴う場合は警告対象となります。
(未来のことを話してはならない)
- ・サインやジェスチャーは言葉のアドバイスと同様に扱います。
- ・過度に喜びを表現しない。 例：ベンチから立ち上がる。

【応援席から】

- ・応援の範囲内はかまわないが、プレーへの指示や指導が伴う場合
応援席に対しては、アンパイヤーから注意→レフェリーからの注意勧告→レフェリーからの退場勧告となります。
選手に対しては声かけに反応しているとみなしたら警告対象となります。

- (4) インプレー中の声かけについて
・カウントコールからボールデッドになるまでは選手以外の発声はできません。
発声した場合はベンチ及び応援席に対してはアンパイヤーから注意、監督に対しては警告対象となります。
- (5) ボールの痕跡確認を求める場合
・選手、監督が痕跡に近づこうとした場合、アンパイヤーはタイムをかけて制止させますが、従わない場合は警告対象となります。
・判定に対しての再質問があった場合は警告対象となります。
- (6) 質問に対しての回答されたことに再質問した時も警告対象となります。
- (7) マナー違反について
・ラケットでネットやコートたたくななどの行為、相手を威圧するような行為に対しては警告対象となります。

10 熱中症対策として (当日朝の委員長会議で判断する。)

当日の天候次第でゲーム終了後のチェンジサービス時、ファイナル中の6ポイント目以降のチェンジサイズ時に選手の水分補給を認めます。ただし審判台の脇で速やかに行ってください。

11 選手の服装・用具等について

選手集合時に、審判員により招集場所にて、下記に示す出場規定確認リストによりチェックさせていただきます。

出場規定確認リスト【審判員に配布します】

(①A：1番手プレイヤーAを示す 個人戦は①A・①Bのみ)
() 都・県 () 中学校

項目	確認内容	①A	①B	②A	②B	③A	③B
ウェア	袖付き・襟付きの半袖スポーツシャツ						
	ひざより上のパンツ・スカート						
	新たに文字を書き込まない						
	ユニフォームから出るスパッツ・アンダーシャツは不可						
帽子 鉢巻	新たに文字を書き込まない。サインも不可 (所有者表示は可)						
靴下	見えている部分の半分以上が白、くるぶしより上。						
靴	白を基調としたテニスシューズ						
ゼッケン	都県名・学校名・名字(同姓の場合は一文字付け加える)						
	4箇所縫いつけ・ホック・マジックテープは許可(安全ピンは不可)						
	白地に黒文字						
	シャツへの直接プリントは不可 背面プリントがある場合はゼッケンによって完全に隠されている						
ラケット	公認マーク付きのラケットであること						
	振動止め等は不可						
その他	団体戦オーダー順の確認						
	だるまや千羽鶴などマッチに関係ないものはベンチに持ち込まない						
	装飾品は身につけない、健康器具も不可						
	監督の服装、靴の確認(麦わら帽子は不可)						
	監督・コーチのゼッケン確認						